

五色池春祭り 楽しいキャンプに小学生が参加

5月4,5日の五色池祭りでは、キャンプ、竹炭^{ちくたん}作り、よもぎダンゴ作り、ザリガニ釣り、投網、ヨシ笛、弓矢遊び、ヨシズ編みといろんな行事・遊びをやりました。前号のニュースで予告してやらなかったのは、布ぞうり作りだけ。バーベキューは、牛肩ロース、豚ロース、荒引きウインナ、ブラックタイガー、シシャモ、イカ、などなど食べきれないほど。参加した小学生が、バーベキューの焼き方をしてくれて、大人たちはビールやワインをたくさんいただき!!。

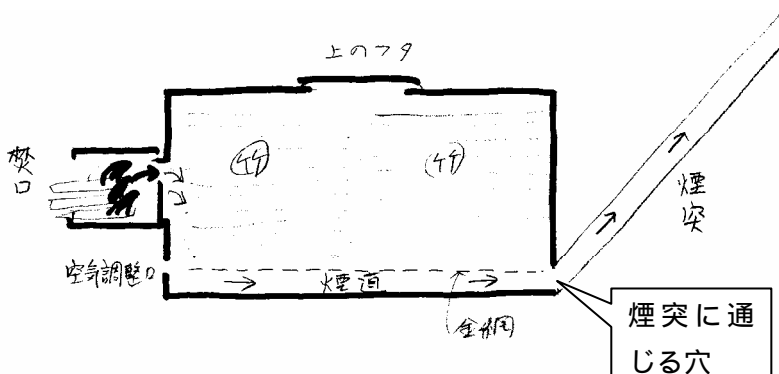


竹炭のほうは、4月に半分ほど竹を割ってあったこと、江戸川区環境促進事業団さんからお借りした竹割り用のナタ4丁があって作業も順調に進み、竹炭材料の準備が早く出来たので、12時過ぎにはドラム缶のカマに火入れをしました。材料の竹が、昨年末に切って保存していたので、比較的乾燥しており、材料への着火 自燃も比較的早く、焚き口からの火を止めて、焚口を細め、自燃=炭化するのを待った。しかし、夜半を過ぎても煙突から出る煙の温度が上がらず、最終的には午前2時30分に下の空気調整口を閉じ、煙突を抜いてカマ全体を土で埋めました。翌日、午後1時過ぎ、カマを掘り出してフタをあけてみると、まだ若干火が残り、3分の1ほどが灰になり、3分の1が炭化不十分で(なま焼け)、炭として完成したのは約3分の一ほど

でした。

反省点は、煙突を取り付けた下の穴が小さく燃焼が進まなかったこと。また、最後に土で生めた際に使った土が、比較的乾燥していたので、目張り効果が悪く、沈火しなかったことなどがあげられる。ドラム缶の煙突に通じる穴は、次回に向けてもう少し大きくあけるようにしたい。

小学5年生2人と4年生2人のあわせて4人の男子がとまることになり、子どもたちだけで楽しいテントのお泊り。すっかり友達になって、楽しそうでした。(感想を書いてもらうのを頼んでいなかったので、今回のニュースにはのりませんが、これからでもぜひ書いてね!!)



5月5日 春祭り2日目

5日は、対岸の岸の下平井の干潟で投網体験。子どもたちをつれて、飯島、石川、橋本の3名人が指導。ハゼ、スズキ、ボラ、エビなどがたくさん獲れて、それらは全てから揚げして食べました。ビールのおつまみに最高です。五色池の周りに生えている

ヨモギの柔らかい芯の部分をとって、茹で、細かく刻んで団子の粉と一緒にこね、蒸し器で蒸したり、お湯で茹でて団子を作り、きな粉やあんこをつけていただきました。ヨモギだんご作りは初挑戦でしたがわりとうまくできました。

小松川池の草刈り（5月28日）

7月2日は子ども自然学校で葛餅作り

5月28日、小松川池(仮称)の作業をしました。雨模様で参加者は5人でしたが、ベテランぞろいで、草刈と水路の溝堀など手際よくこなして、気持ちよい空間が出来ました。雨上がりで、上流側の不法にゴルフ場として使用している人がいる草地は、雨水がちょうど1号池近くに流れてくることが分かったので、水路を掘って池に流れ込むようにしました。その1号池と2号池の間は、以前から水路がありましたが、今回それを掘り返して深くし、水が流れるようにしました。2号池にあった、太いワイヤーは若者の糸岡さんが、スコップで掘りあげて除去しました。草刈りも必要な面はほぼ刈って子どもの遊びの空間が出来ました。

次回は、7月2日はえどがわエコセンターの子ども自然教室として実施するので、江戸川区の広報にも載り、たくさん子どもや親子連れの参加が見込まれます。スタッフの皆さんも参加をお願いします。

江戸川区環境フェア



ザリガニ、クロベンケイガニ、竹炭、ミニヨシズに人気

6月3日、江戸川区の環境フェアが文化センターで開催。中土手に自然を戻す市民の会、下平井水辺の楽校、荒川クリーンエイド・フォーラムの三者で共同のブースを出し、パネル展示とヨシ笛、ミニヨシズつくりと、当日朝に五色池で採取したアメリカザリガニとクロベンケイガニを水槽で展示し、ザリガニつりをしてもらいました。5月のキャンプで焼いた竹炭も展示し、よく売れていました。今回初めて実演したミニヨシズ編みはセイタカアワダチソウのスタレが好評で、順番待ちが出来ました。

ザリガニの小エビのから揚げ

アメリカザリガニは、4～5cmほどの小エビのようなものをさっとゆでた後、小麦粉またはでんぷんをまぶしてから揚げすると、非常においしいことが分かり、ザリガニ退治に一つの朗報です。